

教育のつどい大阪2020

全体会の講師は詩人 寮美千子さん

寮さんは、奈良少年刑務所で9年間、受刑者の詩の教室を...

首都圏から奈良に移住したばかりの2006年、明治の名煉瓦建築である、奈良少年刑務所を見た...

くも
空が青いから白をえらんだのです

驚いた。省略の効いた、何という美しい一行詩だろう。詩の授業では、まず作者に自分の詩を朗読してもらう...

す。「ぼくは、くんのほかあさんは、きつと雲みたいに...

湧いた。すると、その子が突然「先生！」と手を挙げたのだ。普段は、自分から発言...

おかあさんは、今年で七回忌です。おかあさんは体が弱かったです。...

た。けれど、おとうさんは、いつもおかあさんを殴っていました。おかあさんは、亡くなる前にぼくに「つらくない...

だと思いましたが、「ぼくは、くんのほかあさんは雲みたい...

泣きだしてしまつた。みんながその子を慰めた。(中略)

自己表現をする、それを聞いてもらつ、受け止めてもらつた...

驚いた。人間とは、捨てたものではないと思つた。そして、本人が詩だと思つて書き、詩

けではない、ということだ。彼らは24時間、刑務所にいる。刑務所の教官は、刑務所のなかでさえ落ちこぼれてしまう...

なんて簡単なことだろう。逆に見れば、彼らはいままで、たったそれだけの「受けとめ」...

この授業で、わたしたち指導者側は、ほとんど何もしない。お行儀悪く座つていても、...

そして、ここが一番大切なのだが、その関係性は、月一回のこの授業だけで作れるわ

寮美千子(りょう みちこ)さんのプロフィール
東京生まれ。作家・詩人。2005年の泉鏡花文学賞受賞。...



教育のつどい大阪2020全体会

寮美千子さん(作家、詩人)

子どもたちの心を開く 『物語の教室』

9月19日(土)13時半~
大阪市立阿倍野区民センター 大ホール